

校長室便り (NO. 13)

熊本県立甲佐高等学校

令和元年6月14日

夢実現 ～百見は一験に如かず～

【高校総体・高校総文祭、盛大に開催】

高校生の最大の祭典、高校総体、高校総文祭が5月末から6月にかけて開催されました。この瞬間にかけてきた多くの高校生たちが、日々の練習の成果を大いに発揮し、令和の時代の幕開けにふさわしい「感動は無限大」となる大会になりました。

☆テニス部・・・個人戦での戦いとなりましたが、顧問の先生の教える思い切り発揮しようと臨みました。高校生の公式戦の経験はまだですが、ボールに食らいつき、一本一本大切に、必死に返す姿勢は高校生らしいすがすがしさを大いに感じさせてくれました。何よりも、緊張感溢れる場面を経験できたことは大きな収穫でした。まだまだ、1、2年生の選手たちです。これからの成長を大いに期待しています。



☆女子バレーボール部・・・公式戦3回目の試合となりました。新入生を加え、更にチームの団結力を高め臨んだ大会でした。惜しくも結果は、セットカウント0-2でしたが、1セット目は途中リードするなど、粘り強いゲーム運びを見せてくれました。女子バレーの一つの特色である、「ボールを拾ってつなぐバレー」が随所に見られ、何回ものラリーが展開されたのは、チーム全体としての大きな成長だと思います。バレーボールは、高校総体でなく、選手権大会「春高バレー」で引退を迎える選手もいます。成長過程のバレー部です。ぜひとも、春高予選に向け、更に頑張ってもらいたいと思っています。



☆バドミントン部・・・個人戦、団体戦と3日間に渡る試合に出場しました。1年生の新入部員はもちろんのこと、全体的に部員数も増え、体育館の活気が最近どんどん高まってきました。バレー部に負けまいと、必死で声を出し練習する姿には感動します。5月31日にあった、高校総体の開会式では、入場行進の際のテレビ中継で、「バドミントン部が初出場となり、新たな歴史がスタートします」と紹介していただきました。日々の練習はもちろんのこと、多くの試合を通して、チーム力、個人の力量を高め、本校の歴史を築いていってほしいと思います。



☆美術部・カルチャー倶楽部・・・令和初となる、高校総文祭も県立劇場を中心として盛大に開催されました。本校からは、美術部の作品として、昨年度「高校美術展」において、県全体で入選した3年ビジネス情報科坂本 亜優さんの作品とカルチャー倶楽部からは、同じく昨年度「前期コンテスト」で入選した3年普通科牛島 あおいさんの作品が出展されました。2つの作品とも県全体で入選しただけであり、大変見応えのある、人を引きつける見事な作品でした。総文祭でも多くの人々の目にとまったことでしょう。また、総文祭に出場したカルチャー倶楽部の生徒たちも、他の高校生の素晴らしい作品に大いに刺激を受け、大変勉強になった総文祭だったようです。学んだことを、今後の高校生活へぜひとも生かしてほしいと思います。



また、総文祭に出場したカルチャー倶楽部の生徒たちも、他の高校生の素晴らしい作品に大いに刺激を受け、大変勉強になった総文祭だったようです。学んだことを、今後の高校生活へぜひとも生かしてほしいと思います。